

香川県で高病原性鳥インフルエンザ発生！

香川県の肉用鶏農場で、今シーズン国内の家きんで初めて高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）が確認されました。

リスクが非常に高まっていますので、家きん飼養者の皆様は再度、発生防止対策を徹底して下さい。

【発生農場の概要】

- ・所在地：香川県さぬき市
- ・飼養状況：肉用鶏 約5.1万羽

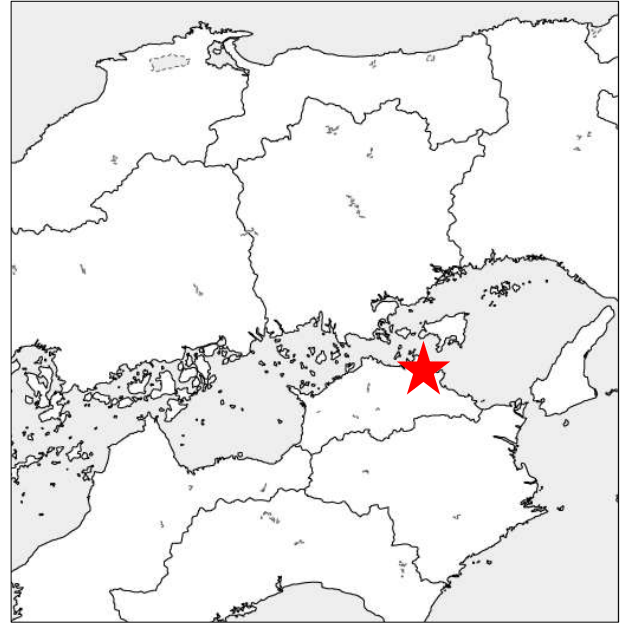
【経緯】

(1月10日)

- ・香川県は、死亡鶏が増加した旨の届出を受けて、農場への立入検査を実施
- ・鳥インフルエンザ簡易検査陽性

(1月11日)


- ・遺伝子検査で疑似患畜確認(H5亜型)
- ・当該農場(肉用鶏約5.1万羽)と関連農場(肉用鶏約4万羽)の家きんを全て処分



◆韓国家きん農場でも続発（2017年11月以降12件）しています。

◆鳥インフルエンザウイルスは、感染した渡り鳥(死体や糞)などと接触した人、物、水、野生動物等により鶏舎内へ運び込まれると考えられます。

- ・野生動物対策徹底！
- ・対策の点検改善！
- ・鶏舎出入口や周辺消毒徹底！
- ・早期発見、早期通報！

<p>防鳥対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網目2cm角以下の防鳥ネットやビニールシートで野鳥侵入を防止、破損箇所の点検、補修！ 	<p>飲用水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道水以外の飲み水は消毒を徹底！ 
<p>人・車両対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入口でウイルス遮断！消毒徹底！ ・鶏舎入出時の手指の消毒 ・鶏舎専用の作業靴、作業着の着用！ 	<p>野生動物侵入防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・侵入経路がないか、 ・鶏舎やタンク周辺に餌になりそうな物がないか再確認！ 